

# \* ~ \* ~ \* 麦粒腫 \* ~ \* ~ \*

## どんな病気なの？

ばくりゅうしゅ  
麦粒腫とは、いわゆる「ものもらい」「めばちこ」と呼ばれる、細菌感染による眼瞼の急性化膿性炎症です。

## 原因

眼瞼の常在菌である黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌がまつげ  
睫毛周囲の皮脂腺や汗腺の開口部から感染することにより発症します。

## 症状

始めは瞼縁近くの皮膚に赤みが出現し、しばしば痛みや痒みを伴います。炎症が強くなってくると、赤み・腫れ・痛みが強くなり、時には白目がゼリー状に膨れる結膜浮腫をきたしたり、同じ側の耳の付け根のリンパ節が腫れてくることもあります。さらに化膿が進むと、赤く腫れた部分の中心にクリーム色の膿点ができ、自然に破れて膿が出る場合があります。膿が出てしまえば、その後症状は回復に向かいます。

## どんな治療？

細菌感染症なので抗生物質の点眼や内服を行います。化膿が進んでいる場合は膿点を注射針で穿刺・切開して排膿させることもあります。

## 気を付けていただきたいこと！

細菌感染ですので、ウイルス感染による流行性結膜炎のように、人から人へうつる心配はありません。汚い手で目をこすったりしないよう注意してください。

